

抗議文

2011年5月25日

在本邦アメリカ合衆国大使館
特命全権大使
ジョン・V・ルース 閣下

日本国大阪府八尾市長
田 中 誠 太

この度、貴国がニューメキシコ州サンディア国立研究所において、昨年11月と今年3月に新型の核性能実験を実施していたとの報道に接しました。

これらの実験は核拡散防止の趣旨に反し、かつ世界の核軍縮の動きに逆行する行為であり、断じて容認できないものです。

わが国は世界で唯一の被爆国であり、住民の生活と安全を脅かす究極の兵器である核兵器の恐ろしさを、原子爆弾を体験した我が国民が身をもって知っています。

これまでも、貴国は再三にわたり国際社会の抗議と中止要請を受けてきたにもかかわらず、それを無視し、今回、新型の核性能実験を強行されました。

貴国が新型の核性能実験を強行されたことは、「核兵器のない世界」を目指す国際情勢の流れへの逆行であり、被爆国の自治体として激しい憤りを覚えます。

同実験実施に対して厳重に抗議するとともに、今後全ての核実験を計画、実施することのないよう強く要請いたします。

さらに、国際社会の指導的役割を担う国として、核兵器開発の停止と核兵器廃絶に向けて努力されることを強く要望いたします。